

そよかせたより

2009
6月号

歯周病について進むの。

歯周病の初期段階である歯肉炎は、十代を含むほとんどの年代にみられ、それが進行してしまって歯周炎になってしまいます。歯周炎は歯肉だけではなく、歯を支えている骨までも破壊し、最終的には歯が揺れて抜けてしまつこともあります。

はじめじめした梅雨の時期になりましたね。
みなさん、なぜ「梅雨」と呼ばれるようになったのか
存知ですか?

「梅雨」という言葉は、江戸時代に中国から伝わった言葉とされ、梅の実が熟すころの雨期なので「梅雨」と呼ばれるようになつたと言われています。「梅雨」(ぱいう)とも書くことがあります。また、「梅雨」(かひ)が生えやすい雨期を「梅雨」と呼ぶようになりました。同じ音の「梅雨」に転じたという説もあります。

今年は例年より梅雨入りがやや遅く、梅雨明けは少し早めだそうです。梅雨の時期が短いため、長い夏が来てしまつてますね。



そよかぜ歯科医院のURL
<http://soyokaze-dc.com/>

健康な歯肉

・淡いピンク色をして引き締まっており、歯と歯の間の歯肉はシャープな三角になつている。

歯肉炎～軽度歯周炎

・歯と歯肉の間に歯垢(細菌のかたまり)がたまり、歯肉が腫れて出血しやすい。歯を支える骨には影響はない。
・ブラッシングで改善される場合もある。

院長より

今回は、歯周炎の進行について具体的に症状をまとめました。歯周病は痛みや症状が少ない病気であるため、一般的に自身での千手観察が難しいのが現状です。主な症状としては、歯が動く(重度)、口が臭う(中度から重度)、歯が浮く(軽度から中度)、しみる(軽度)などが挙げられます。

歯周病に症状のポイントは三点あります。

一つ目は歯磨きだけで症状が消失するかと言つておきます。二つ目は、歯石をはじめとした病原因子を取り除けば症状が消失するかどうかがポイントです。そして、三つ目として歯周病の治療が終了してから、良くなつた状態が維持できるかがポイントになります。このことからも定期千手観察が重要となります。

次回は、この千手観察の内容である歯周病検査と、その治療の目的について紹介したいと思います。



スタッフ紹介 アシスタント 渋谷麻美



こんにちは、渋谷です。

今年の3月から助手として勤務しておりますが、受付にいる事も多いかと思ひます。歯医者さんのイメージが明るくなるような、元気な挨拶を心がけています。挨拶を交わす事で皆様のお顔を覚えていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。